



日本海を越えていく



水無月から文月へ

6月も終わり、いよいよ7月を迎えます。

校長 佐藤雅秀

6月の和風月名を「水無月(みなづき)」というのは、皆さんも御存じのとおり。

読んで字のごとくであれば、文字通り水の無い月ということになりますね。でも、6月といえば全国的に梅雨の時期を迎える時期であり、「降水量の多い時期では？」と思う方も多いはず。実は「みなづき」の「な」は、「な(無)」＝「なし」ではありません。漢字で記述されると、つい「なし」と思いがちですが、「な」は、「～の」という意味を持つ古語です。つまり、「みなづき」は「水の月」であり、「田に水を引く月」という意味になります。

6月は、まさに水に関する活動がたくさんありました。18日にはクリーンアップ作戦。23日には水泳授業のためのロープ張り(PTA活動)。28日は浜清掃。クリーンアップ作戦では、これから観光シーズンを迎える粟島をきれいにしよう、という思いのもとに集い、児童生徒は先を競ってゴミ拾いに勤しんでいました。「きれいになった海岸を見てどう？」の質問に、皆が「気持ちいい～」「予想以上のゴミ！」「ゴミの浮いている海ではなく、ゴミのない海を」等の感想が聞かれ、自然を大切に作る心や一生懸命働くことの大切さを学んだことと思います。

粟島浦小中学校恒例の水泳授業がこれから始まります。まずは安全に学習活動が行えるよう、PTA 会員の皆様から監視小屋の設営とロープ張りの御協力をいただきました。お陰様で立派な施設が整い、無事に水泳授業が始められます。改めて感謝申し上げます。併せて、PTA 会員の御協力だけでなく、自分たちで学習環境を整えようという思いから、児童生徒、職員で浜清掃を行いました。当日は、天候的に実施が危ぶまれましたが、何とか天候ももちこたえ、無事に浜清掃を終えることができました。わずか1時間弱の活動でしたが、自分たちが活動する場所の清掃とあって、皆よく清掃に励み、全員が「気持ちいい～」の思いで終わりました。

その他、20日には中学生が大謀網漁に参加してきましたし、小学生についても穴釣り体験が今後予定されています。これらの活動は、水に関わるというよりも水(海)からの恩恵を享受する貴重な体験です。児童生徒が6月の体験をとおして、誰かのため、地域のために活動することの素晴らしさや自然を敬う気持ちを新たにすることと受け止めています。これらの体験をとおして感じたことを今後の生活にぜひ生かしていただきたいと思います。

明日から7月(文月)です。「文」という言葉からは、詩歌や文書が連想できますね。夏休み前の慌ただしい月であるからこそ、時間をつくって読書に親しむ余裕をつくるのも一興ではないでしょうか。



「いざという時に行動できる人に」

～村合同防災訓練・AED講習会～



6月15日に村合同の防災訓練が行われました。豪雨による土砂災害を想定し、体育館に避難所を開設し、島民が一齐に避難するという訓練でした。児童生徒は真剣な眼差しで体育館に避難し、その後、一人一人を確実に保護者に引き渡して訓練を完了しました。また、6月19日に村上市消防本部から消防士の方をお招きして応急処置手当・AED講習会を行いました。積極的に参加し、体験する姿がとても印象的でした。どちらの活動も緊急事態を想定し、訓練と思えない程、真剣



に取り組む姿、積極的に関わろうとする姿、しっかりと話を聴いて素直に取り組む姿が見られました。当たり前のことですが、子どもたちの言動にうれしさと感動を覚えた時間でした。

絶対にいじめは許しません

～いじめ見逃しゼロスクール集会～



6月26日に「いじめ見逃しゼロスクール集会」が行われました。まず初めに「パシャリンウィーク」の振り返りを行いました。毎日くじを引いてペアをつくり、写真とともにお互いのよいところを書き添える、そんな素敵な写真が紹介されました。会場が温かい空気に



包まれました。その後、出前授業ということで、新潟お笑い集団NAMARAの出来心様をお招きし、御講演をいただきました。さすが



プロのお笑い芸人。あっという間に会場にいる人たちの心をつかみ、笑いが溢れる活動をとおして大切なことを伝えてくださいました。「考え方は人それぞれ。みんな正解。いろんな人と相談しながら決めるから価値がある」「大事なことはしっかりと言葉で伝えないと伝わらない」「人は悪いところを見てしまいがちだが、その力をよいところに使って相手を褒めることが大切」などなど。今回の公演のテーマ



は、「みんなちがってみんないい!」。そのテーマに向かってよりよい人間関係をつくり、いじめをしない・許さない・見逃さない意識を高め、あらためて確認する時間にすることができました。

アイデアと情熱で大盛り上がりでした

～栗小フェスティバル(小学校)～



6月21日に学校運営連絡協議会の皆様や保育園の園児・先生、保護者の皆様、中学生を招いて、「栗小フェスティバル」が行われました。



子どもたちが中心となって計画し、運営・実行した「引いて当てる画像クイズ」「お宝探偵団」「バッグ&おめんづくりやさん」は、工夫とアイデアを凝らした素晴らしいイベントとなりました。また、可愛らしく、一生懸命に説明する姿に訪れた人たちは、心が和み、笑顔と笑いがいっぱいの会場となりました。とても素敵な企画と運営



で会場は大盛り上がりとなりました。会場を訪れた人は、「本当に来てよかった。楽しかった」の感想を残して、会場を後にされました。

大きい魚にびっくり、大興奮！！

～大謀網体験(中学校)～



6月20日に大謀網体験が実施されました。大謀網とは、大型の定置網を2隻の船が漁師の力で魚の行動範囲を絞り、魚を捕まえる漁法です。勢いよく揚がってくるマダイ、ブリなどを見て、生徒たちはびっくりし、一心不乱に魚を捕まえていました。その後、捕れた魚を選別してその大きさにまたびっくり。翌日には、



中学2年生が大謀網漁で獲れた魚を捌く「魚捌き体験」を行いました。講師の本保和平様の実技を拝見し、ここでもびっくりし、見よう見まねで魚捌き実践に取り組みました。その後、自分たちで捌いた魚を料理し、実際にいただきました。そのおいしさにまたまたびっくり。海の恵みと栗島のすばらしさを満喫したびっくりだらけの活動となりました。



よろしくお願いします。いつでも相談してね ～スクールカウンセラーから～



今年度もスクールカウンセラーとして、遠山修子先生が当校に来られています。年間を通じて4回来校を予定しており、7月10日には2回目の来校を予定しています。保護者の皆様、児童生徒のみなさん、どんなことでも結構です。不安な事、相談したい事等ありましたらいつでも相談していただければと思います。10月23日と11月27日にも来校される予定です。



さあ、今年も動き始めました

～運動会実行委員会～



まだまだ先のことと思いきや、今年度の運動会が動き始め、小学生と中学生の実行委員が中心となって計画内容の立案と活動日程の準備が始まりました。子どもたちが中心となり、教職員と一緒に真剣になって考え、創り上げていくのが粟島浦小中学校の運動会です。毎年



感動を呼ぶ運動会。今年はどんな運動会になるのか、今から本当に楽しみです。

あいさつと語りと自然が心を癒します

～とびっきりの環境から～



粟島浦小中学校の朝は、美しい花や木々に囲まれた中を登校し、とびっきりの笑顔とあいさつで出迎えられ一日が始まります。また、ふと窓を見ると、汽船が美しい日本海を渡ります。何度見ても天気の良い日は、感動してしまいます。お昼休みには、保健図書委員



会の図書班が中心となって絵本の読み聞かせなども行っています。子どもたちの優しい語り心が癒されます。なんてすばらしい環境なのでしょう。こんな素敵な環境で生活できるからこそ、素敵な人間が育つのだと思います。これからもこの素敵な環境を大切にしていきます。

